

～ 新旧対比解説 2026 vs. 2015 ～ ISO14001:2026年版 規格改定移行準備セミナー

◆「移行準備チェックリスト」を配布します

開催日時 2026年 9月 2日(水) 東京会場
2026年10月16日(金) オンライン
2026年12月 7日(月) 東京会場
各回とも 10:00～17:00

講義後
「理解度確認テスト」を
実施します

受講対象 • 環境管理責任者、事務局、内部監査員、その他ISO14001規格改定に関心のある方々

講師 中川 優氏
株式会社オフィスグラビティー 代表取締役社長
一般社団法人日本能率協会 主任講師

参加料(税込) 日本能率協会法人会員: 41,800円/1名
JMAでISO審査を受けている企業: 41,800円/1名
上記会員外: 47,300円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 <https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

開催趣旨 2026年8月の「JIS Q 14001:2026」発行は、単なる定期改定に留まらず、近年のESG経営や国際的な情報開示基準(SSBJ、スコープ3対応など)と強く関連する改定と見ることができます。

企業には、従来の公害を中心とする狭義の環境(守りのEMS)から、経営と一体化した戦略的な広義の環境(攻めのEMS)への転換が求められています。

本セミナーでは、単に新旧の条文を比較するだけでなく、新規格への改定が「自社のEMSにどのような実務的インパクトをもたらすか」を徹底解説。法規制の最新動向を踏まえて重要となる「解釈の変化」を深く掘り下げます。

- 特徴
- ① 規格改定により「**自社のEMSにどのようなインパクト**」があるかを解説
 - ② **新旧比較**で分かりやすく解説
 - ③ 特にESG経営等の普及から「**改定はないが解釈が変わりつつある箇条**」を解説
 - ④ 講義後、自身の理解度を確認できるテストを実施

■ プログラム

10:00～17:00 (昼休み 12:00～13:00)

1 2026年8月 JIS Q 14001:2026規格発行の背景

- (1) 規格改定の背景と規格改定の概要
- (2) 2026年版移行審査
- (3) 「守りのEMS」から「攻めのEMS」

3 附属書の変更により 規格解釈に影響を及ぼす箇条

- 5.1 リーダーシップ及びコミットメント
- 5.2 環境方針
- 7.3 認識 ほか

2 新旧対比により主要な改定内容を “差分”で理解する

- 4.1 組織及びその状況の理解
- 4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解
- 6.1.5 リスク及び機会
- 6.3 変更の計画策定(新規)
- 7.2 力量
- 9.2.2 内部監査プログラム
- 9.3 マネジメントレビュー ほか

4 社会や技術の普及で 規格解釈が強化された箇条

- 6.1.2 環境側面とスコープ3
- 7.4 コミュニケーションとSSBJ基準
- 9.1 監視、測定、分析及び評価と温対法
- 8.1 運用管理とEUエコ・デザイン規則 ほか

5 グループ討議

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

